

平成 1 9 年度

県立病院事業会計決算（見込み）の概要

平成 2 0 年 8 月

平成19年度決算（見込み）について

1. 病院事業全体

① 収支について

（単位：百万円、％）

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	26,995	26,725	270	1.0	25,605	1,390	5.4
医業収益	23,332	23,111	221	1.0	21,897	1,435	6.6
入院収益	18,290	17,815	475	2.7	16,971	1,319	7.8
外来収益	3,850	4,071	▲ 221	▲ 5.4	3,753	97	2.6
一般会計繰入金	828	828	▲ 1	▲ 0.1	828	▲ 0	▲ 0.0
その他	364	397	▲ 33	▲ 8.2	345	20	5.8
医業外収益	3,663	3,614	49	1.4	3,708	▲ 46	▲ 1.2
一般会計繰入金	3,545	3,545	0	0.0	3,545	0	0.0
その他	117	69	49	71.4	163	▲ 46	▲ 28.0
病院事業費用	27,662	28,138	▲ 476	▲ 1.7	27,317	345	1.3
医業費用	25,880	26,291	▲ 411	▲ 1.6	25,487	393	1.5
給与費	12,987	13,144	▲ 158	▲ 1.2	12,891	95	0.7
材料費	6,864	6,877	▲ 13	▲ 0.2	6,526	338	5.2
(うち医療材料費)	6,644	6,648	▲ 4	▲ 0.1	6,312	332	5.3
経費	3,255	3,594	▲ 340	▲ 9.4	3,343	▲ 88	▲ 2.6
減価償却費	2,590	2,536	54	2.1	2,581	9	0.3
その他費用	184	139	45	32.3	145	39	27.0
医業外費用	1,782	1,847	▲ 64	▲ 3.5	1,831	▲ 49	▲ 2.7
支払利息	1,111	1,145	▲ 35	▲ 3.0	1,168	▲ 57	▲ 4.9
その他	672	701	▲ 30	▲ 4.2	663	8	1.3
収支差	▲ 667	▲ 1,413	746	—	▲ 1,712	1,045	—

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

② 患者数について

（単位：人、％）

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
延入院患者数	406,235	432,890	▲ 26,655	▲ 6.2	402,667	3,568	0.9
宮崎病院	157,458	171,550	▲ 14,092	▲ 8.2	161,413	▲ 3,955	▲ 2.5
延岡病院	147,659	148,190	▲ 531	▲ 0.4	139,604	8,055	5.8
日南病院	90,254	94,900	▲ 4,646	▲ 4.9	88,208	2,046	2.3
富養園	10,864	18,250	▲ 7,386	▲ 40.5	13,442	▲ 2,578	▲ 19.2
延外来患者数	415,300	480,935	▲ 65,635	▲ 13.6	402,854	12,446	3.1
宮崎病院	167,018	169,050	▲ 2,032	▲ 1.2	154,651	12,367	8.0
延岡病院	117,512	151,900	▲ 34,388	▲ 22.6	115,841	1,671	1.4
日南病院	117,602	143,325	▲ 25,723	▲ 17.9	117,725	▲ 123	▲ 0.1
富養園	13,168	16,660	▲ 3,492	▲ 21.0	14,637	▲ 1,469	▲ 10.0

③ 特記事項（病院事業全体）

病院事業全体の収支は、6億67百万円の赤字
～ 2年連続で、中期経営計画の目標を大きく上回る改善を達成

- ・ 収支 (計画比 + 7億46百万円の改善)
(前年度比+10億45百万円の改善)

病院事業収益は、計画比では、外来収益が計画を下回ったものの、入院収益が計画を上回ったことにより、全体で2億21百万円上回る。
また、前年度比では、7対1入院基本料の通年効果等による診療単価のアップ等による入院収益の大幅増により、14億36百万円の増

<主な増減要因>

- ・ 入院収益の増加(計画比 + 4億75百万円)
(前年度比 + 13億19百万円)
- ・ 外来収益の減少(計画比 ▲ 2億21百万円)
(前年度比 + 97百万円)

病院事業費用は、経費等が計画を下回ったため、計画を4億76百万円下回る。
また、前年度比では、患者増に伴う材料費の増等により、3億45百万円の増

<主な増減要因>

- ・ 給与費の減少(計画比 ▲ 1億58百万円)
(前年度比 + 95百万円)
※ 退職給与金 (前年度比) + 1億63百万円
- ・ 材料費の減少(計画比 ▲ 13百万円)
(前年度比 + 3億38百万円)
※ 医療材料費 (前年度比) + 3億32百万円
- ・ 経費の減少(計画比 ▲ 3億40百万円)
(前年度比 ▲ 88百万円)

延患者数は、計画は下回るが、入院、外来ともに前年度より増

- ・ 延入院患者数 406,235人 (計画比 26,655人 ▲6.2%)
(前年度比 3,568人 +0.9%)
- ・ 延外来患者数 415,300人 (計画比 65,635人 ▲13.6%)
(前年度比 12,446人 +3.1%)

2. 病院別

(1) 宮崎病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	10,917	10,417	500	4.6	10,778	139	1.3
医業収益	9,672	9,183	489	5.3	9,519	153	1.6
入院収益	7,640	7,291	350	4.8	7,576	64	0.9
外来収益	1,573	1,437	136	9.5	1,496	77	5.1
一般会計繰入金	331	331	0	0.0	331	0	0.0
その他	127	124	4	3.0	116	12	10.1
医業外収益	1,245	1,234	10	0.8	1,259	▲ 14	▲ 1.2
一般会計繰入金	1,195	1,195	0	0.0	1,195	0	0.0
その他	50	40	10	26.3	64	▲ 14	▲ 22.5
病院事業費用	10,755	10,687	68	0.6	10,711	44	0.4
医業費用	10,265	10,196	69	0.7	10,186	79	0.8
給与費	5,166	5,300	▲ 134	▲ 2.5	5,085	81	1.6
材料費	2,939	2,712	227	8.4	2,898	41	1.4
(うち医療材料費)	2,852	2,618	234	8.9	2,811	42	1.5
経費	1,346	1,460	▲ 113	▲ 7.8	1,381	▲ 34	▲ 2.5
減価償却費	715	665	50	7.6	766	▲ 51	▲ 6.6
その他	98	60	39	65.0	56	42	75.7
医業外費用	490	491	▲ 1	▲ 0.2	525	▲ 35	▲ 6.7
支払利息	235	236	▲ 2	▲ 0.6	262	▲ 27	▲ 10.3
その他	255	254	1	0.3	264	▲ 8	▲ 3.2
収支差	162	▲ 270	432	—	67	95	—

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

② 経営指標について

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	84.5	90.9	▲ 6.4	—	85.9	▲ 1.4	—
2. 平均在院日数 (日)	15.1	H22 17.0以下	▲ 1.9	—	15.3	▲ 0.2	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	48,524	42,500	6,024	14.2	46,936	1,588	3.4
(2) 外来	9,418	8,500	918	10.8	9,674	▲ 256	▲ 2.6
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	53.4	57.7	▲ 4.3	—	53.4	0.0	—
(2) 医療材料費	29.5	28.6	0.9	—	29.6	▲ 0.1	—
5. 経常収支比率 (%)	101.5	97.5	4.0	—	100.6	0.9	—

③ 特記事項

宮崎病院 ～ 1億62百万円の黒字
(対計画比 +4億32百万円、対前年度比 +95百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画を下回ったが、前年度比では、入院が減少したものの、外来は増加した。

一方、診療単価は、入院・外来ともに計画を上回り、前年度比では、高度な手術の増加や7対1入院基本料の取得期間の増等により入院単価は前年度を上回った。

このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 + 3億50百万円
- ・ 外来収益 + 1億36百万円

前年度比は、

- ・ 入院収益 + 64百万円
- ・ 外来収益 + 77百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 2,830件 (H18) → 3,076件 (H19)

○ 給与費は、法定福利費の増（共済追加費用の増）等に伴い、前年度に比べ増加したものの計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 1億34百万円
- ・ 前年度比 + 81百万円

○ 材料費は、手術件数増等により前年度に比べ増加し、計画を上回った。

- ・ 計画比 + 2億27百万円
- ・ 前年度比 + 41百万円

○ 経費は、委託費の見直し等に伴い、前年度に比べ減少し、計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 1億13百万円
- ・ 前年度比 ▲ 34百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 医師の確保

外科1名を確保した。(6月)

○ 医療安全管理者の設置

医療事故を防止し、安全で質の高い医療を提供するため、部署を超えた組織的な取組の推進を図ることを目的として、医療安全管理者を設置した。(4月)

○ 「がん相談窓口」の設置

患者や家族からの「がん」に関する疑問や不安に関する相談窓口として、電話による「がん相談窓口」を開設(4月)

(2) 延岡病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	9,878	9,759	119	1.2	8,960	918	10.2
医業収益	8,739	8,642	97	1.1	7,789	951	12.2
入院収益	7,131	6,861	270	3.9	6,250	881	14.1
外来収益	1,194	1,367	▲ 173	▲ 12.6	1,137	57	5.0
一般会計繰入金	271	271	0	0.0	271	0	0.0
その他	143	143	▲ 0	▲ 0.2	131	12	9.3
医業外収益	1,139	1,117	22	2.0	1,171	▲ 33	▲ 2.8
一般会計繰入金	1,096	1,096	0	0.0	1,096	0	0.0
その他	42	21	22	106.2	75	▲ 33	▲ 43.4
病院事業費用	10,038	10,093	▲ 56	▲ 0.6	9,665	373	3.9
医業費用	9,239	9,277	▲ 38	▲ 0.4	8,864	375	4.2
給与費	4,350	4,149	200	4.8	4,224	125	3.0
材料費	2,661	2,892	▲ 231	▲ 8.0	2,478	183	7.4
(うち医療材料費)	2,585	2,817	▲ 232	▲ 8.2	2,408	177	7.3
経費	1,084	1,097	▲ 13	▲ 1.2	1,069	15	1.4
減価償却費	1,090	1,096	▲ 5	▲ 0.5	1,038	53	5.1
その他	54	43	12	27.3	55	▲ 1	▲ 1.2
医業外費用	798	817	▲ 18	▲ 2.2	801	▲ 3	▲ 0.3
支払利息	541	541	▲ 1	▲ 0.1	558	▲ 18	▲ 3.2
その他	258	275	▲ 18	▲ 6.4	243	15	6.3
収支差	▲ 159	▲ 334	175	—	▲ 705	545	—

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

② 経営指標について

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	88.1	88.3	▲ 0.2	—	83.1	5.0	—
2. 平均在院日数 (日)	15.0	H22 14.0以下	1.0	—	14.6	0.4	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	48,297	46,300	1,997	4.3	44,772	3,525	7.9
(2) 外来	10,162	9,000	1,162	12.9	9,814	348	3.5
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	49.8	48.0	1.8	—	54.2	▲ 4.4	—
(2) 医療材料費	29.6	32.6	▲ 3.0	—	30.9	▲ 1.3	—
5. 経常収支比率 (%)	98.4	96.7	1.7	—	92.4	6.0	—

③ 特記事項

延岡病院 ～ 1億59百万円の赤字
(対計画比 +1億75百万円、対前年度比 +5億45百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画は下回ったが、紹介患者の増等により、前年度に比べ、入院・外来ともに増加した。

一方、診療単価は、入院・外来ともに計画を上回り、前年度比でも、高度な手術の増加や7対1入院基本料の取得期間の増等により入院、外来ともに前年度を上回った。このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 ～ + 2億70百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 1億73百万円

また、前年度比では、

- ・ 入院収益 ～ + 8億81百万円
- ・ 外来収益 ～ + 57百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 2,249件 (H18) → 2,384件 (H19)

○ 給与費は、法定福利費（共済追加費用の増）や職員数の増による給料等の増に伴い、前年度に比べ増加し、計画を上回った。

- ・ 計画比 + 2億円
- ・ 前年度比 + 1億25百万円

○ 材料費は、外来化学療法患者数及び手術件数の増に伴い、前年度に比べ増加したものの、計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 2億31百万円
- ・ 前年度比 + 1億83百万円

○ 経費は、ガス代等の単価アップに伴う光熱水費の増等により、前年度に比べ増加したものの、計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 13百万円
- ・ 前年度比 + 15百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 医師の確保

神経内科1名及び心臓血管外科1名を確保した。

○ 救命救急センターの診療室の増設

良質で高度な医療を提供するため、救命救急センターの診療室の増設を行った。(11月)

(3) 日南病院

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	5,374	5,611	▲ 237	▲ 4.4	5,015	359	7.2
医業収益	4,535	4,781	▲ 247	▲ 5.2	4,175	360	8.6
入院収益	3,355	3,416	▲ 62	▲ 1.8	2,959	396	13.4
外来収益	927	1,075	▲ 148	▲ 13.8	959	▲ 32	▲ 3.3
一般会計繰入金	162	162	0	0.0	162	0	0.0
その他	92	128	▲ 37	▲ 28.5	96	▲ 4	▲ 4.5
医業外収益	839	830	10	1.2	840	▲ 1	▲ 0.1
一般会計繰入金	822	822	0	0.0	822	0	0.0
その他	17	7	10	129.8	18	▲ 1	▲ 3.1
病院事業費用	5,933	6,138	▲ 205	▲ 3.3	5,750	182	3.2
医業費用	5,452	5,618	▲ 165	▲ 2.9	5,261	191	3.6
給与費	2,768	2,796	▲ 28	▲ 1.0	2,652	116	4.4
材料費	1,173	1,195	▲ 22	▲ 1.8	1,053	120	11.4
(うち医療材料費)	1,124	1,147	▲ 24	▲ 2.1	1,008	116	11.5
経費	735	857	▲ 123	▲ 14.3	785	▲ 51	▲ 6.4
減価償却費	749	739	10	1.4	740	9	1.2
その他	27	31	▲ 3	▲ 10.7	31	▲ 3	▲ 10.6
医業外費用	480	520	▲ 40	▲ 7.6	489	▲ 9	▲ 1.8
支払利息	334	367	▲ 33	▲ 8.9	346	▲ 12	▲ 3.4
その他	146	153	▲ 7	▲ 4.6	143	3	2.1
収支差	▲ 559	▲ 527	▲ 32	—	▲ 735	177	—

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

② 経営指標について

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	87.8	92.9	▲ 5.1	—	79.1	8.7	—
2. 平均在院日数(日)	18.1	H22 19.0以下	▲ 0.9	—	17.6	0.5	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	37,171	36,000	1,171	3.3	33,541	3,630	10.8
(2) 外来	7,878	7,500	378	5.0	8,143	▲ 265	▲ 3.3
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	61.0	58.5	2.5	—	63.5	▲ 2.5	—
(2) 医療材料費	24.8	24.0	0.8	—	24.1	0.7	—
5. 経常収支比率(%)	90.6	91.4	▲ 0.8	—	87.2	3.4	—

③ 特記事項

日南病院 ～ 5億59百万円の赤字
(対計画比 ▲32百万円、対前年度比 +1億77百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画は下回ったが、前年度に比べ、入院患者数は増加、外来患者数は若干減少した。

一方、診療単価は、入院・外来とも計画を上回った。また、前年度に比べ、高度な手術の増加や7対1入院基本料の取得期間の増等により入院単価は前年度を上回ったが、外来単価前年度を下回った。このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 ～ ▲ 62百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 1億48百万円

また、前年度比では、入院収益は増加するものの外来収益は減少する。

- ・ 入院収益 ～ + 3億96百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 32百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 1,014件 (H18) → 1,086件 (H19)

○ 給与費は、退職給与金等の増に伴い、前年度に比べ増加したものの、計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 28百万円
- ・ 前年度比 + 1億16百万円

○ 材料費は、入院患者数及び手術件数の増等により、前年度に比べ増加したものの計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 22百万円
- ・ 前年度比 + 1億20百万円

○ 経費は、委託費等の減により、前年度に比べ減少し、計画を下回った。

- ・ 計画比 ▲ 1億23百万円
- ・ 前年度比 ▲ 51百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 循環器科の新設

高齢化の進展の早い、日南串間医療圏のニーズに対応するため、医師2名を確保し、循環器科を新設した。(4月)

○ 医師の確保

内科1名を確保した。(12月)

(4) 富養園

① 収支について

(単位：百万円、%)

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	826	938	▲ 112	▲ 13.5	852	▲ 26	▲ 3.1
医業収益	386	505	▲ 119	▲ 23.5	414	▲ 28	▲ 6.8
入院収益	163	246	▲ 83	▲ 33.9	186	▲ 23	▲ 12.5
外来収益	156	192	▲ 35	▲ 18.4	162	▲ 5	▲ 3.3
一般会計繰入金	64	65	▲ 1	▲ 0.8	64	▲ 0	▲ 0.1
その他	3	2	1	24.6	2	0	13.5
医業外収益	440	433	7	1.6	438	2	0.4
一般会計繰入金	432	432	0	0.0	432	0	0.0
その他	8	1	7	702.1	6	2	31.1
病院事業費用	937	1,220	▲ 283	▲ 23.2	1,191	▲ 254	▲ 21.4
医業費用	923	1,201	▲ 277	▲ 23.1	1,176	▲ 253	▲ 21.5
給与費	703	899	▲ 196	▲ 21.8	930	▲ 227	▲ 24.4
材料費	91	78	13	16.1	97	▲ 5	▲ 5.6
(うち医療材料費)	83	65	18	27.5	86	▲ 3	▲ 3.2
経費	90	180	▲ 90	▲ 50.1	108	▲ 18	▲ 17.0
減価償却費	36	37	▲ 1	▲ 3.4	38	▲ 2	▲ 6.2
その他	4	6	▲ 2	▲ 36.3	3	1	20.4
医業外費用	13	19	▲ 6	▲ 30.7	15	▲ 2	▲ 12.4
支払利息	1	1	0	0.1	1	▲ 0	▲ 24.2
その他	12	18	▲ 6	▲ 32.0	14	▲ 2	▲ 11.6
収支差	▲ 110	▲ 282	171	—	▲ 339	228	—

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

② 経営指標について

区 分	19年度決算	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	50.3	49.0	1.3	—	40.2	10.1	—
2. 平均在院日数 (日)	93.9	H22 71.0以下	22.9	—	102.2	▲ 8.3	—
3. 患者一日あたり診療収入 (円)							
(1) 入院	15,001	13,500	1,501	11.1	13,852	1,149	8.3
(2) 外来	11,871	11,500	371	3.2	11,039	832	7.5
4. 医業収益に対する割合 (%)							
(1) 職員給与費	182.2	178.2	4.0	—	224.6	▲ 42.4	—
(2) 医療材料費	21.5	14.0	7.5	—	22.9	▲ 1.4	—
5. 経常収支比率 (%)	88.2	76.9	11.3	—	71.6	16.6	—

③ 特記事項

富養園 ～ 1億10百万円の赤字
(対計画比 +1億71百万円、対前年度比 +2億28百万円)

〔概要〕

- 延患者数は、入院・外来ともに、計画及び前年度を下回った。
一方、診療単価は、入院・外来ともに計画及び前年度を上回った。

このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益 ～ ▲ 83百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 35百万円

また、前年度比においても、ともに減少した。

- ・ 入院収益 ～ ▲ 23百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 5百万円

(参考) 患者数減少の背景

* 新たな病院（こころの医療センター）への円滑な移行を図るための
転・退院の促進等に伴う患者数の減少

* 病棟再編等

※ 現員数は各月1日現在

	H17.3	H17.4	H17.10	H18.4	H18.10	H19.4
病棟数	6	5	4	3	2	1
病床数	268	208	159	102	81	59
看護師数	102	91	87	57	48	29

(参考) 児童思春期の専門医の退職に伴い、平成19年4月小児病棟を休止

- 給与費は、病棟再編等に伴う職員数の減等により減少した。
 - ・ 計画比 ▲ 1億96百万円
 - ・ 前年度比 ▲ 2億27百万円
- 経費は、病棟再編等に伴う光熱費等の減少等により減少した。
 - ・ 計画比 ▲ 90百万円
 - ・ 前年度比 ▲ 18百万円

〔診療機能の見直し等〕

- 医療保護入院等診療料に係る施設基準の取得
入院患者に対する行動制限を最小化するための取組みを行い、医療保護入院等診療料の施設基準を取得した。(9月)